

# 緩和ケア研修会アンケート

開催日時：平成28年11月12日・13日

## ◆研修会の評価について

回答人数 28人

	全く良くなかった	あまり良くなかった	普通	良かった	非常に良かった
研修会の日時や会場は、良かったですか。			3	14	11
	全く添っていない	あまり添っていません	普通	添っていた	非常に添っていた
この研修会の内容は、あなたのニーズ・期待に添っていましたか。				12	16
	全く理解できなかった	あまり理解できなかった	普通	理解できた	非常に理解できた
この研修会のねらい、内容について理解できましたか。				10	18
	全く役に立たない	あまり役に立たない	普通	役に立つ	非常に役に立つ
この研修会で学んだことは、日頃の業務の中で役に立ちますか。				7	21

## ◆研修会を受講されてのご意見・ご感想をお聞かせください。

- もっと早く受講すればよかったと思いました。
- 患者役を行うロールプレイは非常に新鮮であった。緩和的医療はモルヒネの処方程度しかしたことがなかったので、勉強になった。
- 知らなかった内容も多く大変勉強になった。
- 日頃の業務で生かせる知識・技術を学ぶことができた。
- 疼痛コントロールなどの医学的な知識だけではなく、医師としての姿勢についても見つめなおせて非常に有意義な研修でした。ありがとうございました。
- 疼痛コントロールや副作用など再度確認できました。また、精神的アプローチや地域の医療システムなどきちんと勉強したことのない点について、グループ学習を含め学べたと思います。
- 知らないこと、不確かな知識を系統立てて学ぶことができ、大変充実した2日間でした。ありがとうございました。
- 緩和ケアについてよくまとまっており、集中的に勉強する良い機会になりました。実践的な内容も多く含まれており、明日から役に立てることができればと思う。
- 緩和ケアについてのまとまった話、臨床に即した話も聞かせていただき、大変勉強になりました。
- 2日目の終了時間が早い方がいい。1日目は少し遅くてもいいのかも
- 日頃のがん診療において大変参考になる知識・情報を得ることができました。
- 自分の苦手としていた精神的ケア・社会的サポートについて学べたことが良かった。
- エンドステージの患者に対する具体的な接し方を学ぶことができ大変役に立った。
- 研修の内容は日常の診療の中で全て役に立つことばかりで有意義でした。
- ロールプレイ等、非常に貴重な経験をさせていただきました。

- ・麻薬・オピオイドの導入を今後はもう少し積極的に行っていきたいと思いますし、今回の講義からやってみたいと思えました。
- ・患者さんの立場にたったの病状説明が必要とは考えていたが、実際にロールプレイングを行うと患者さん側からすれば十分というのは難しいと感じた。
- ・大変勉強になりました。
- ・日常の診療で疑問に思っていたが聞けなかった事、また新しい知識など教えていただき、明日への診療へ役立てたいと思います。普段からの緩和ケアに対する自分を見直す機会になりました。
- ・教科書的に勉強できる面以外の事（精神的苦痛やスピリチュアルペイン）について話を聞くことができ有意だった。ロールプレイをすることで患者の気持ちを感じることができ、今後の診療に生かしていこうと思います。
- ・緩和ケアを実施するために必要な診療上の知識を学ぶことができました。また、ロールプレイを通して、ムンテラに必要な心構えや患者さんへの共感的姿勢を学ぶことができ、大変有意義でした。
- ・緩和ケアは今まで勉強をしたことがなかったのでとても勉強になった。
- ・緩和ケアに関して疑問や不安も多かったが、具体的な処方やコミュニケーションの方法を勉強できたので、とても勉強になった。ロールプレイで他の方の考え方ややり方を学べてよかった。
- ・患者役のロールプレイングで進行がんといわれることは非常にショックであり告知を受ける立場について、多少は理解ができたと思う。
- ・実践的な研修会で今後に役立つと思いました。在宅に移行できない患者はいないということ学びました。2日間講師の方々ありがとうございました。
- ・がんだけでなく全ての疾患の在宅療養に応用できる内容であったと思います。
- ・土日にしかできない内容と思います。
- ・世の中が在宅医療の実現に向けて（改革も含めて）大きく動いていることを実感できました。また、緩和ケア医療について振り返りができ勉強になりました。
- ・とても勉強になりました。
- ・薬物治療法、その他精神的・金銭的なサポートについてとても勉強になった。

## **◆あなたが研修会を開催される立場となった場合、今回の研修会で改善をしたら良いと考えられる点がありましたら、お聞かせください。**

- ・在宅への課題、お金があれば何でも支援できるだろうが現実的には厳しい。まず介護保険でどのくらいの支援（お金）があって残りどのくらい実費になるかわからないと、家族も判断できず実臨床のシュミレーションにならないと思いました。
- ・ずっと同じ席だったので昼食会場を別にできたら少しリフレッシュできたのでは？と感じました。
- ・山口県内の在宅に関係する施設の情報が変更すると良いと思います。
- ・可能ならば、各講師の追加スライドを集めて別冊で加えてほしい。
- ・初日の概論はより簡潔で短くしても良いと思った。
- ・具体的な処方のまとめのページなどがついていると、明日からの臨床でよりスムーズに活用できる。
- ・良かったので特にありません。
- ・予後を推測する方法、又、現在の地域のMSWさん達の話も聞いてみたいです。
- ・時間がどうしても長くなるので集中力を保つことは難しかった。
- ・研修医、中堅（10～15年目）、指導医（20年以上）の3人でロールプレイすることが必要ではと思います。可能であれば2～3組で良いので一般の方の模擬患者があれば尚よいと思いました。
- ・2日を1日にしたいです。
- ・質問されるので緊張感を持って聞くことができたが、初心者には難しいと思いました。
- ・コミュニケーションスキルの具体的な言葉の例など多く提示してほしい。

- 緩和ケア全般におけることですが、放射線治療の扱いに関して情報が少ないかと思えます。
- スライドと資料を同じものにしていただければと思いました。（もしくは捕捉されたスライドを後から配布するなどあればよいかと思えます）。
- グループワークのロールプレイで、もう少し空間があれば声が聞き取りやすいと思いました。
- 知らなかった内容も多く、大変勉強になりました。
- お弁当があまり美味しくないです。